

Oh!Smile

2018年 11・12月号



言葉の源



日本語の魅力

日本語は世界でも稀にみるほど難解で、複雑な言語です。複雑な表意文字である漢字に加え、ひらがなやカタカナを取り入れています。日本語は長い歴史の中、その過程で語感を変え、意味を変え、新しい意味を付与されるなど、その変化はバラエティに富んでおり、奥深いおもしろさをもっています。相手によって使い分ける敬語や丁寧語・謙讓語、また女性と男性でも使う言葉に違いがあり、書き言葉と話し言葉にも違いがあります。「正しい言葉を使う」という相手を大切にしたいが込められています。

日本語の特徴のひとつとして、自然や季節に関する言葉が多くあり、それはとても豊富です。例えば「雨」なら、「春雨」「時雨」「夕立」など、雨の降り方ばかりでなく、情景までも連想させて情緒的です。手紙などでは必ず時候の挨拶から始まります。生活の中で季節感を大切にすることは、多くの外国人から感銘を受けています。また、オノマトペ（擬音語・擬態語）を好む言語とされています。「ポツポツ」「ザーザー」「しとしと」など、情景をより感情的に表現し、日常会話や文章中でも頻繁に使われています。

言葉の始まりには誕生の物語があります。ひとつひとつの言葉には、その言葉ができた事情や由来があります。ひとりひとりの名前もつけられたわけがあるのと同じです。言葉の始まりをたどっていくと、意外な発見がいっぱいあります。言葉は生き物のように、時代ごとにその姿を変えていきます。日本語は知れば知るほど魅力のある言葉なのです。



日常の挨拶 編

○ 「こんにちは」
誰でも自然に使っている挨拶の言葉です。「こんにちは」はもともと、「今日はいい日でございますね」が省略された挨拶であり、また「こんばんは」は「今晩はいい夜ですね」という表現が短くなったものです。「おはよう」も「お早くから起きて、ご健康ですね」という意味が込められています。お互いにねぎらう言葉をかけ合って、一日を無事に過ごせることを喜び合っています。

○ 「さよなら」
「さよなら」を漢字で書きますと「左様なら」となります。もともと接続詞として使われていた言葉で、「それならば」といった意味です。よって、「左様なら、再びお目にかかりましょう」という言葉が省略されたものです。

○ 「ありがとう」
「ありがとう」の漢字は「有り難う」です。「有」ることが「難しい」わけですから、「めったにない」という意味になります。昔の人は、神仏の力を奇跡の恵みとして、「有り難し、有り難し」といいながら祈りました。それは、まったく感謝の言葉です。そこから人に対しても、感謝の気持ちを表す言葉として使われるようになりました。

○ 「いただきます」
「いただきます」の漢字は「戴きます」です。「戴く」には「高い所に掲げる」という意味があり、「いただきます」は「ご飯に対して高く掲げるような感謝の気持ちを表しています。しかし、この感謝の気持ちは誰に向かって表しているのでしょうか？これは料理を作ってくれた人に対してでは

ありません。自分で作っても「いただきます」となりません。これは、もともとは荒神様（こうじんさま）という神様に対する、感謝の気持ちを表す言葉でした。かまどに住む神様とされています。かまどがなければ、ご飯を炊くことができません。それで、無事に「ご飯が炊けたことを荒神様に感謝するため、「いただきます」というようになりました。

○ 「おやすみなさい」
毎晩寝る前の挨拶ですが、自分が寝るのに、相手に対して「なさい」という命令形は少し奇妙です。それは宿の人が客にいうような、「ごゆっくりとお休みなつて下さい」という丁寧な夜の挨拶が省略されて、「おやすみなさい」という現在の言葉になったものです。そもそも相手を気づかした言葉であり、優しく聞こえます。



日常よく使う言葉 編

○ 「へのかっぱ」
「非常に簡単!」「どうってことではない!」という時に使います。もともとは「木端（こっぺ）の火」と言っていました。「木端」とは木の端くれで、何の役にも立たないという意味があります。だけど、小さいだけに、簡単に火がつく、つまり「木端の火」は「簡単なこと」だということで現在のような意味が生まれました。それがなまって現在に至っています。

○ 「とんでもない」

「途でもない」がなまったものです。「途」は「道、方向」という意味です。旅の途中で、行き止まりになっていてその先に道がない、だから、行く先のない「とんでもない」という事態の時に使う言葉として生まれました。

○ 「しっぺがえし」

仏教の宗派で禅宗があり、座禅で修行します。修行の足りない人は座禅中に何かを考えたりして姿勢が崩れます。すると、竹の棒でピシッと叩くのです。この竹の棒が「しっぺい」です。僧はこの先生役を交代するので、この前打たれた人はしっぺいで、その打った人を打ち返すのです。これが「しっぺい返し」です。今の意味は修行と関係なく、「意地悪をすると、痛いしっぺ返しに会います」などに使っています。

○ 「三日坊主」

長く続かない人のことを指します。まず、「三日」というのは、もともと日本では古来から短い期間を表現する時に使っていました。例えば、「三日天下」や「三日あけず」などです。昔は仏門に逃げ込む人がよくいましたが、安易な気持ちで仏に仕えてもすぐに俗世が恋しくなってしまう、長続きはしないとのことで、こう呼ぶようになりまし。

○ 「どら息子」

「どら」とは打楽器の「銅鑼（どら）」であり、金属製の鐘の一種です。そこから「銅鑼を突く」→「鐘を突く」→「金を尽く」とシヤレて、金を使い果たすという意味で生まれました。もともとは、廓でよく使われたシヤレ言葉でした。どら猫も語源は同じです。



言い得た妙な慣用句 編

○ 「身から出た錆」

自分が原因で起きた失敗を「身から出た錆（さび）」と言いますが、この「身」とはいったい何のことでしょうか？昔は「刀は侍の魂」といわれ、この「身」はその刀の身、刀身を指しています。手入れを怠るとすぐに錆びついてしまいます。いざという時に錆びついていては戦えずに命を落とすのも自業自得である、そこから生まれました。

○ 「人の噂も七十五日」

この七十五日の根拠はどこにあるのでしょうか？古来、日本は「七」「五」という数字で組み合わせ、さまざまな表現を生み出してきました。俳句の「五・七・五」、短歌の「五・七・五・七・七」があります。この言葉の語呂のよさから、七十五日という数字があてられたと考えられています。七十五日というと四季のほぼ一つの季節にあたり、季節が移り変われば、人の気持ちも変わるものだ、という意味も込められています。

○ 「五十歩百歩」

この言葉は、多少の違いはあっても、よくないという点では変わらない、という意味があります。この言葉の語源は、中国の孟子にあります。「五十歩退散した兵が百歩逃げた兵を臆病だと笑った」という話を例にとり、「どちらにせよ、逃げた事では同じだから、笑う資格はない」と説き、どちらの方がよかったなどといったも意味がない、ということでした。



人気のネーミング 編

○ 「スーパードライ」

「辛口」と宣伝しているため、「ドライ」「辛口」と思い込んでいますが、ドライビールとは、「発酵度の高いビール」のことです。発酵度が高まれば、ビールの中の糖分が残らず、あと口はスッキリするということが、このスッキリ感が「辛口」なのです。

○ 「ボンカレー」

レトルトカレーの第一号です。この「ボン」は平凡の「凡」をイメーシしがちですが、じつはフランス語で「いい」とか、「うまい」という意味です。「こんにちは」を意味する「ボンジュール」の「ボン」なのです。

○ 「スジャータ」

コーヒーに入れるミルクである「スジャータ」はコーヒーブレイクの必需品です。この「スジャータ」はインドのお釈迦様と関係しています。お釈迦様が修行を終えてひと息ついていると、牛乳入りのかゆをつくってお釈迦様に食べさせた娘がいました。その娘の名前が「スジャータ」なのです。要するにお釈迦様も喜ばれた名前からネーミングされました。

○ 「ヤクルト」

最近海外でも愛飲者が増えているようです。「ヤクルト」はエスペラント語でヨーグルトのことです。一時、エスペラント語は万国共通の言葉になるのではないかと期待されました。そのエスペラント語を使っているヤクルトは世界中の人々に愛されることを目指しているといえそうです。



編集後記

日本は長い歴史の中、さまざまな分野で独特の文化を育んできました。島国であるゆえに、奥深いものがたくさんあります。日本語もそのひとつです。その表現における幅と深さは趣を感じさせます。最近、日本語が乱れているとよく言われています。それぞれの言葉の意味や正しい使い方が理解できていないこと、また本離れなどが原因として挙げられています。スピード時代ですから、何でも片づけてしまおうと言葉もボンボンと早口になってきました。おまけに新しい横文字が組み込まれて、頭を悩ませます。時代の流れにあるものの、言葉を伝達の道具としてとらえるだけでなく、日本人ですら日本語をもっと大切にすべきと改めて感じました。本来の意味をよく知ること、言葉が活き活きしてきます。何気なく発しているひとつひとつの挨拶言葉も、本当の意味を理解することで姿勢が正され、相手の心に響いていきます。日本語には愛おしい言葉がいっぱい詰まっているので（YASU）

浪速フード株式会社
 〒570-0003
 守口市大日町3-32-11
 TEL 06-4252-7770
 FAX 06-6904-2610
 E-MAIL smile@naniwaf.co.jp
 HP http://www.naniwaf.co.jp
 ※「Oh!smile」への、ご要望・お問合せは上記にご連絡ください。